

# 使い勝手のよい

## 窓断熱助成制度が 実現しました!



日本共産党

豊島区選出都議会議員

米倉春奈

こんにちは、都議会議員の米倉春奈です。

みなさんのお力添えで都議会に送っていただいた私は、環境建設委員会に所属し、建設業者のみなさんの仕事作りと、環境にやさしい東京をつくるためにがんばってきました。

力を入れたことの一つに、使い勝手の悪かった東京都の窓断熱リフォーム助成制度の改善があります。

苦労もありましたが、このたび、小池都政のもと、制度の改善が実現したのでご報告します。

## 改善された窓断熱助成制度は

### ひと部屋分からお金が出ます

マンションならリビングの一つの面だけでも補助が出ますので、お客さんがはじめやすいしくみになっています。

### どれくらいの補助が出るの？

東京都の補助率は費用の6分の1。国の要件を満たせばさらに3分の1の補助が出て、あわせて半額の補助も可能です。

### どれくらいの規模を予定？

年間1万1千件を予定しています。3カ年分25億円の予算をつみました。

東京都の  
話では…

経済波及効果は386億円  
雇用効果も約2千人と試算。  
地域に密着した業者の  
仕事おこしにも大きな  
貢献となるとのことでした。

## 窓断熱は1石3鳥

省エネによく、体と住宅によく、仕事作りにもよい制度です。ごいっしょに普及をすすめていきましょう。

# ひと山もふた山もありました。

## Stage 1 東京都の制度は使い勝手が悪かった。

当初、東京都がつくった省エネリフォーム助成は、窓だけでなく、天井も、外壁も工事が必要な上、太陽光発電や HEMS もセットでつけなければならないというもので、総額200~400万円の費用がかかるもの。これでは都民は手が出ません。

## Stage 2 米倉都議が改善を提案。

これじゃあ、うまくいかないと、米倉都議は、他県の制度も研究し、東京都に提案しました。



**米倉**「住宅リフォームが進んでいるところは、手続きが簡易で、費用も高額にならず、業者が市民に勧めやすい制度になっている」

**米倉**「山形県では、窓1枚の断熱にも補助をだすなどで、4年間に1万4千件のリフォーム助成をやっています。窓1枚から補助ができるような制度を」

## Stage 3 米倉都議の提案を無視した都の制度は大失敗。

米倉都議の提案に対し、都は、「窓だけでなく、天井や床などをくみあわせてリフォームを行うことで、高い省エネ性能を確保することを考えている」と突っぱねました。しかし、その結果は…。要件がきびしい都の制度は、使い勝手が悪く、1年目の実績はなんとゼロ件！

翌年は少し要件をゆるめましたが、それでも30件ほどの実績。1350件分の予算をくみながら、けっきょくその3%程度しか使われませんでした。その結果…

**制度の改善が実現！**

改善の内容はほとんど米倉都議の提案どおりに。

4年間の都議会活動での私の確信

**声をあげれば政治は必ず変えられる**

さらに都政でがんばるために

みなさんのご支援をお願いします。



都議会議員

**米倉春奈**